

第 125 回定時株主総会 事前質問へのご回答

当資料では、2024 年 6 月 27 日（木）開催の第 125 回定時株主総会にあたり、事前にいただいたご質問について以下のとおりご回答申し上げます（同じ内容を、上記第 125 回定時株主総会においてご回答申しあげました）。

質問 1 合理化のため本社機能は安中製錬所に集約し、経営陣が直接工場設備の状況、操業、設備更新の必要性等を肌で感じて経営指揮できる環境に身を置くべきではないか。

ご回答 当社取引先は東京を拠点とする会社も多く、都内に本社を置くことには相応の合理性があり、加えて、現在の本社人員を安中へ移すことは現実的ではないと考えます。移転による賃料単価低減及び床面積削減で十分な合理化効果を得る一方、新体制下においては、工場との連携を更に強化し、適時適切な経営が行えるよう努めてまいります。

質問 2 昨年以来、四半期毎の決算発表の度に経営数字が大幅に悪化していくのはなぜか。経営幹部、代表取締役が経営責任を果たしているように見えない。

ご回答 当社は、法令及び東証のルールに基づき、適時適切に決算発表その他の情報開示を行っております。2023 年度決算に関しましては、第 2 四半期に多額の減損損失を計上し財務基盤を大きく毀損したところ、2024 年 4 月に入りアブラ社関係の多額の損失が発生したことにより、本決算において自己資本比率は更に大きく減少することとなりました。
繰り返しとなり大変恐れ入りますが、第 2 四半期、本決算ともに適時適切な決算発表を行っておりますので、何卒ご理解賜りたくお願いいたします。

質問 3 社外取締役は、監督機能を高めるべく独立性を保持することが必要と考えるが、コスト削減の一環としてそのような社外取締役を無給で招聘することはできないのか。

ご回答 当社といたしましては、今回ご選任をお願いしている新任の社外取締役は、大手総合商社においてマネジメントを含めた豊富な業務経験を有する人材や財務に関する知見を有する人材もおり、取締役会の機能強化と当社グループの持続的な企業価値向上に貢献いただけるものと判断しております。

報酬については、有能な人材を獲得し当社の経営に対して最大限力を発揮いただけるような金額を、他社の水準も踏まえて合理的に判断しております。

質問4 買収から短期間での鉱山閉山とそれに伴う減損が発生しているが、どのような投資判断を行っているのか。

ご回答 CBH 社の買収及びアブラ鉱山への参画にあたっては、十分な検討と情報収集、資源量等の精査と調査を行っており、製錬事業のための鉱石の長期安定確保の観点から、その判断は当時の内外環境を鑑みても合理性があったと考えます。アブラ鉱山については、次世代鉱山の必要性から、投資額が限定的で当社の財務体力に見合う良質な鉱山であると判断し、第三者専門家の支援も得た調査の結果、金属価格の下振れリスク等を含めた経済性の確認を経て、出資を決定しました。さらに、エンデバー鉱山とラスプ鉱山の教訓を基に、権益保有比率 40%のマイノリティでの参画といたしました。しかしながら、コロナ禍に加えウクライナ問題等の予想外の出来事によりエネルギー価格、原材料費及び人件費が想定以上に高騰したことに加え、記録的な大雨による鉱山の開発操業遅延等の要因により、操業立上げステージにおいて収支と資金繰りが大きく悪化し、最終的には減損を計上することとなりました。中長期的には操業が順調に行なわれ収支も改善する可能性はありますが、ラスプ鉱山に関する大きな減損損失を計上した当社の財務体力は、今後も発生し得る想定外の事態に対応できるだけの余力が無いものと判断いたしました。結果的に投資の成果を上げることができなかった点については遺憾に感じておりますが、投資及びその後の運営の各時点において合理的な情報収集・検討を行ってきたものと考えております。

以 上